

1回(昭2年卒)~
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名

1回(明43年卒)~
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名

1回(昭23年卒)~
72回(令2年卒)
卒業生30,508名



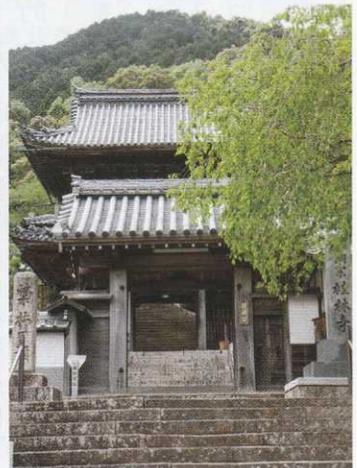
双鶴同窓会報
発行〒624-0841
京都府舞鶴市字引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会
☎(0773) 75-3131

編集 中西 毅
責任者 河崎 安代
印刷 オガワ 印刷



▲春の舞鶴公園



▲桂林寺山門



▲舞鶴公園 (田辺城門)



▲心種園



▶ 田辺城まつり

幽斎がつくった城下町・舞鶴

一月から放送が始まったNHK大河ドラマ「麒麟がくる」舞鶴ゆかりの人物・細川藤孝(幽斎)が登場します。主人公 明智光秀の盟友として活躍した細川藤孝(幽斎)の人物像や彼が築いた田辺城に今注目が集まっています。

本能寺の変が起きた一五八二年、幽斎は田辺城の本格的な建設にとりかかります。田辺城は、平地に建てられた平城で、現在のJR西舞鶴駅から北の方角に南北に伸びるように作られました。川の流れそのものを大きく変える「瀬替え」という大規模工事が行われ新たに伊佐津川が作られました。城内に家臣を住まわせるだけでなく城の周りにいろいろな技術を持った職人や商人なども集めて町を作ること、政治や経済の中心地となる城下町が形成され、現在の西地区の基礎となりました。

今年、今年新型コロナにより、残念ながら中止となりましたが、毎年、五月最終日曜日に舞鶴公園と西地区商店街を中心に「田辺城まつり」が開催されます。

コロナが落ち着いたら、ぜひ、ふるさとを訪れ、幽斎の激動の物語を巡ってみたいと思います。

ご挨拶



伊佐津川の
散歩道を吹き抜ける風にも、初夏を感じる季節を迎えました。

同窓生の皆様にはお変わりなく、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会の活動に心強いご支援とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

今年も新春一月二日に第四一回卒業生(平成元年卒)によって、「高校卒業三〇周年記念同窓会」が開催され、同窓会から、

を過ごしました。こうして順調に滑り出した今年の春も二月に入ると一転、新型コロナウイルスが世界中に拡大し、わが国でも非常事態宣言が発出されるなど、私たちの日常生活に自粛や規制が要請されるようになりました。学校でも学年末の重要な時期に休校措置がとられ、卒業生にとって思い出に残る卒業式もその規模が縮小され、来賓や在校生(代表一名のみ出席)の出席はなく、また、例年吹奏楽の演奏によって行われる国歌斉唱や校歌斉唱もテープで流されるなど、卒業生・保護者・教職員のみのも式典となりました。それでも全日制二二六名、通信制十三名、合計二四九名の若鶴たちは、堂々と

胸を張って母校を後に新たなステージに向かって旅立って参りました。その後、新型コロナウイルスによる感染者の拡大は増加の一途をたどり、身近な行事や催しが見通しの立たない重々しい空気が私たちを覆っています。こんな時こそ元気を出してと思っておりますが、不要不急の行動をしないのが最善の策のようであり

を超える交流する機会が閉ざされましたこと、誠に残念であります。四月末現在、新型コロナウイルスの感染拡大は、未だ収束の気配が見えない状況にあります。見えないコロナウイルスを防止するのは大変ですが、何とかこれ乗り越え、平和な日常が戻ることを願うばかりです。時節柄、同窓生の皆様にはご自愛いただき、そしてご健勝にてご活躍されますようお祈り申し上げます、ご挨拶とします。



ご挨拶



双鶴同窓会の皆様におかれましては、平素より本校教育活動に温かい御理解・御支援をいただき、誠にありがとうございます。

校長 松下茂男

さて、皆様の母校である西舞鶴高等学校は、前身の加佐郡立高等女学校創立から数えること百三十三年目を迎えました。多くの生徒が国公立大学をはじめとする希望進路に進み、部活動の元年度実績でも、全国大会に陸

上・テニス・水泳、近畿大会に卓球・ソフトテニス・美術・写真が出場し、また、地域の諸行事にも積極的に参加して、若者のエネルギーで地域創生の一助となる活動を続けています。オリンピッククイヤーとなるはずであった今年、西高生のさらなる飛躍を期待していましたが、新型コロナウイルス感染拡大による社会的危機、命に関わる問題は教育現場にも影を落とし、本校においても安全第一の

もと臨時休校や制限付きの授業・部活などの対応を行っております。「自分は大丈夫」という「正常性バイアス」がかかった過信は絶対に禁物。手洗いうがい、マスク着用を心がけ、密閉・密集・密接となる場面から遠ざかるよう。そして、自らの安全確保と同様に周りの人に対する安全配慮の意識を持つよう呼びかけを続けていますが、危険を見極める判断力とそれを回避する行動力、いざという時の初期対応などの危機管理の意識・能力を、この機に最大限高めていければと願っています。

命はもとより、社会経済、人々の生活に大打撃を与えている一連のコロナショックは、社会の枠組み、人々の価値観や行動様式に大転換をもたらし、おいても、長期休校が続く学校に学び方を抜本的に見直す動きが急速に進みつつあります。「主体性」と「学びに向かう力と人間性」を生徒たちに強く求める私たち教職員自身も、一層の精進で導く力を高めなければと、気持ちを引き締めています。

また、こういう非常の時だからこそ、学校の底流に脈々と流れる伝統・校風を大切にしたいと思っております。本校の校訓「究理」「尚志」「敬人」の精神のもと、大江選手像に刻ま



双鶴同窓会会計報告

令和元年度事業報告

令和元年度一般会計報告書

(令和元年5月1日～令和2年4月30日)

I 収入の部 3,456,945円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	2,104,933	
入会金	992,000	@4,000×248名(全日制236名、通信制12名)
寄附金	300,000	平成元年卒業生から(卒業30年記念同窓会事務局)
雑収入	60,012	普通預金利息 12円 総会祝儀 60,000円
合計	3,456,945	

II 支出の部 1,314,208円

項目	決算額	摘要
事業費	713,310	総会諸費用、各支部補助、会報印刷代
会議費	100,916	会報編集会議、理事会・評議員会会議
支部関係費	62,260	阪神支部総会祝儀、旅費
通信交通費	93,886	会議案内用切手・専用HPサーバー・総会中止連絡用ハガキ等
事務局費	43,836	卒業アルバム代、祝儀、同窓会名簿(H17・H22・H27)廃棄料等
特別会計へ繰入	300,000	平成元年卒業生寄附 300,000円を特別会計へ振替
雑支出	0	
合計	1,314,208	

III 残高の部 2,142,737円(次年度へ繰越)

令和元年度特別会計報告書

(令和元年5月1日～令和2年4月30日)

I 収入の部 9,874,855円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	9,574,040	
繰入金	300,000	平成元年卒業生寄附金
雑収入	815	預金利息
合計	9,874,855	

II 支出の部 0円

項目	決算額	摘要
合計	0	

III 残高の部 9,874,855円(次年度へ繰越)

以上、報告します。

令和2年6月1日

双鶴同窓会会長 内藤 行雄
" 理事長 渡辺 弘
" 会計 西村 和夫

平成31年

4月23日(火) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- 令和元年度双鶴同窓会役員について
- 総会について
- 平成30年度仮決算報告について
- 会報発行の進捗状況について
- その他

令和元年

5月30日(木) 第2回本部役員会 於 双鶴会館

- 総会について
- 平成30年度決算報告について

6月9日(土) 同窓会報「双鶴」第43号発刊(一般会員向け)
令和元年度理事会・総会開催

於 舞鶴グランドホテル

- 理事会 33名 参加
- 総会 83名 参加
- 記念講演 「日本酒の話あれこれ」
池田 恭司氏 (高校40回)
- 懇親会 88名 参加

11月16日(土) 双鶴同窓会阪神支部総会開催

内藤行雄会長以下4名が出席

於 新大阪ワシントンホテルプラザ

令和2年

1月2日(木) 高校41回生卒業30周年記念同窓会
内藤行雄会長が出席

於 舞鶴グランドホテル

2月28日(金) 同窓会報「双鶴」第44号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 監査実施年月日 令和2年5月21日(木)
- 監査実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 監査の対象 双鶴同窓会にかかる会計帳簿、
収入・支出証拠書類及び預金に
関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、
保管預金ともに正確に処理されており、適正であった
ことを報告します。

令和2年6月13日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
会計監査 上山 利彦 ㊞
会計監査 齋藤 友幸 ㊞

卒業! 30周年!!

第41回卒業生

令和二年一月二日(木)、第四十一回卒業生の「卒業30周年記念同窓会」をふるさと舞鶴にて開催させていただきました。

当日は、双鶴同窓会会長 内藤行雄様、西舞鶴高等学校校長 松下茂男様、双鶴同窓会阪神支部支部長 谷村久兒雄様、双鶴同窓会東京支部支部長 増本治夫様、双鶴同窓会京都支部事務局長 原田易典様、そして七名の先生方にご列席を賜り、同窓会の皆さんには地元はもとより、遠路はるばる駆けつけていただき、一六三名もの仲間と盛大に開催できましたこと、改めてお礼申し上げます。

三〇年前に、それまで同じ学び舎で過ごした私たちは、それぞれの希望を胸に旅立ち、それぞれの人生を歩んでまいりました。当日を迎え皆さんとお会いした時に、懐かしさと、三〇年という時の流れに感慨深い思いがこみあげてまいりました。そして、高校生の頃にはあまりお話ししなかつた方でも、同窓生というだけで懐かしい思い出や、近況などを話し、時間を共にできた幸せに感謝しました。

出席された同窓生の皆さんは様々な再会があったことでしょうか。また、今回は参加が叶わなかつた方々も級友に連絡をとるきっかけになればと思っております。

平成元年に卒業した私たちが、令和元年に再び集い、令和二年の新年に同窓会で再び出会えたことは嬉しい偶然だと思っております。今回の同窓会を機に、また新たに生まれつなかりが続くことを願っています。

結びにあたり、この同窓会を開催するにあたり、それぞれにお忙しい中も、気持ちよく活動してくださいました実行委員会の皆さんに心より感謝申し上げます。また、同窓生の皆さんの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。

第四一回卒業生

三十周年記念同窓会実行委員長 新宮 美紀



点描 支部 部会

(支部だより)

東京支部

東京支部は本年、発足七〇周年を迎えることから、十一月十五日に「七〇周年記念総会」を開催する予定で準備を進めてきました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言等により、特に大人数での会合や飲食は開催が難しくなり、いつ終息するか不明で、誰が感染してもおかしくない状況となってきました。本部総会も中止とお聞きし当支部に於いても半年後に、会員の皆様が安心して参加頂ける状況になっているかは不明であります。また、ご参加頂ける会員も高齢者が多く、リスクが多いと判断し来年度まで延期することに致しました。

前回総会以降、学年幹事制を導入して各学年の方に幹事をお願いし、同級生への「繋がり」を作って頂くようお願いをしてきました。三か月に一度の割合で幹事と学年幹事の皆さんが集まり、会合と懇親会を重ねて総会に向けた議論を進めて参りました。開催日と会場が決まり本

番に向けて会報誌「いわし雲」の編集など、準備を進めようとしていた段階での決断でありました。来年度開催の日程と会場は、新型コロナウイルスが終息次第決めて参ります。詳細等が決まりましたら順次ホームページやメールにて会員の皆様にお知らせさせて頂きます。

(事務局長 澤田謙二)



阪神支部

昨年、菊薫る十一月、第二十三回定時総会を新大阪ワシントンホテルプラザにて開催いたしました。

来賓、同窓生一〇名が一堂に会し、楽しく心地よいひと時を過ごしました。

総会では来賓の内藤会長から支部活動の活性化に對しお祝いと励ましの言葉をいただきました。

また、松下校長先生からは、西高生自らが学校のあるべき姿、あるべき生徒像を皆で共有できるスローガン「夢を叶える場所がここにある」を提案し、正門横にこの標語の立派な看板を設



置したお話を聞きました。さすが文武両道努力の西高生、夢と希望に満ちた学生生活を送っていると同窓生一同目を細めて喜んでいました。

懇親会では東京支部、京都支部のご祝辞をいただきました。久しぶりに顔をあわせた同期、先輩、後輩諸氏の楽しい会話が飛び交い話の花が咲きました。また、舞鶴名物の物産展も好評でした。

次期総会は来年十一月七日(日曜日)場所は同じく新大阪ワシントンホテルプラザです。

阪神支部では、ボランティア活動の一環として、理事、評議員一同「いかにして楽しく魅力的な同窓会にするか」を常に考え活動しています。

双鶴同窓会の歴史や伝統は単なる遺産ではなく、明日への新たな発展を目指すものと認識しております。

歴史と伝統を尊重し、気楽な雰囲気を保ちつつ双鶴同窓会阪神支部の発展に努めていきたいと考えています。

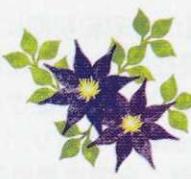
同窓会の皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

(支部長 谷村久兒雄)

京都支部

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、皆様はもとより日本国民が外出自粛等で大変な困難な状況に置かれているところでありますが、双鶴同窓会京都支部の活動状況につきまして、以下の通り報告させて頂きます。

平成三〇年度の京都支部の総会で齋藤新支部長(昭和三十六年高卒)が就任し、役員を中心に京都支部の課題、運営のあり方等を洗い出して確認を致しま



した。

令和元年七月に、最近の総会・懇親会出席者や支部会費納入者約三〇〇名の方々に、支部長就任のあいさつ状と双鶴同窓会報「双鶴」を同封して送り、引き続きのご支援ならびに総会出席及び出席者勧誘のお願いを致しました。

令和二年二月には、評議員として、新しい方も入れて四十三名の方々をお願い致しました。併せて、京都支部の運営等についてご意見、ご協力をお願いしたい点を七項目にしてお伝えし、幅広くご意見をお伺い致しました。

本年の総会・懇親会は、九月六日京都タワーホテルで開催する予定で準備をしております。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の脅威が迫る状況になり、先行きが不透明な中、緊急事態宣言が发出されたことから、やむなく一年程度の延期をさせて頂きたくここにお願いの方ご報告申し上げます。何卒ご理解を賜りますようお願い致します。

現時点では政府、都道府県関係者等の多くの方々、特に医療従事者の献身的な努力のおかげで日本の医療は崩壊の瀬戸際で踏ん張っている状況であります。ウイルスに対する治療薬、ワクチンの開発も鋭意、全世界

で行われております。京都支部としては、見守ることしかできませんが、安心、安全な総会の開催のために準備して参ります。皆様、新型コロナウイルスに負けないように耐え忍んで頑張って参りましょう。

(事務局長 原田易典)

通信制の会

新しい年度を迎えて単位制の通信制では十三名の新入生が入学。転・編・再入学生十九名も加わったと聞いています。通信制の学びは自学自習を基本とし、スクーリングやレポート作成など学習面だけではなく、文武両道を掲げ頑張つて全員揃つて卒業してほしいものです。

二月二十八日の卒業式には十三名が卒業されました。全通合同卒業式の後改めてL1教室で校長先生から卒業証書並びに表彰状(通信制教育振興会より修学優秀者へ。教育研究会より会長賞・通信制課程より校長賞)が授与されました。卒業・表彰されました皆さん、おめでとうございます。一人ひとり多様な能力を生かし素晴らしい世界へと大きく羽ばたいてほしいものだと感じました。尚入学式、卒業式は新型コロナウイルス感染

拡大防止に向け規模を縮小され開催されました。

双鶴同窓会通信制の会では二年に一度同窓会を開催しています。双鶴同窓会長様はじめ、校長先生、副校長先生、恩師の先生方の御出席を賜り同窓会(総会・懇親会)を行つていきます。総会では事業報告、会計報告など承認され、総会後の懇親会では恩師の先生方を囲んで語り合い久々に会った同窓生との旧交を温め、あるいは世代を超えた交流を行いながら懐かしい高校時代の思い出話などで絆をより深めて頂き貴重な日になればと願つております。

昨年の十二月の文化祭(彩雲祭)には、渾身の作品、自信一杯の生活体験発表、熱のこもった生徒会音楽ライブなど、たくさんの方が楽しんでました。今年度は通信制同窓会を開催としていましたが新型コロナウイルス感染拡大防止を優先するために同窓会を中止とさせて頂きますのでご理解下さい。今後共双鶴同窓会通信制の会の活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(通信制の会 岩田護)



さあ、夏です! 夏といえば「万願寺甘とう」です!

万願寺甘とう

～とうがらしの王様～

“とうがらしの王様”ともいえる果肉がぎっしり詰まったボリューム感のある大きさと独特のくびれ、見た目がとてもユニークな京の伝統野菜「万願寺甘とう」は、煮てよし・焼いてよし・揚げてよしの三拍子揃ったとうがらしです。

京都府舞鶴市の万願寺地区で、大正末期から昭和初期にかけて誕生したと伝えられる夏野菜です。当時は自家野菜として栽培されていましたが、現在はJA 京都にのくに管内(舞鶴市・綾部市・福知山市)で栽培が広がり、京の伝統野菜・京のブランド産品として認証されている京野菜を代表する産物です。

「万願寺とうがらし」とは、とうがらしの品種名であり、「万願寺甘とう」は地域団体商標として登録された商品名です。【登録：第5150710号、権利者：全国農業協同組合連合会】

「とうがらしの王様」にふさわしい大きさでありながら、果肉は軟らかく甘みがあり、かつ種が少なく食べやすいことが特徴です。



詳しくはこちら

→ <http://amatou.kyoto/>

オンラインショップも
あります!

ぜひ、舞鶴自慢の「万願寺甘とう」
を食べて、夏も元気にお過ごし
ください!!



同窓生 紹介

今では珍しい、自然分娩ができる京都府北部唯一の助産所 — みき助産院。
 平成十九年十二月に舞鶴市喜多埠頭の近くに開設されました。
 院長の新宮美紀さんは、平成元年（第41回）卒業の双鶴同窓生です。
 現在活躍中の同窓生を紹介します。



◆新宮美紀さんのプロフィール

平成元年 西舞鶴高等学校を卒業、平成6年 京都府立医科大学付属看護専門学校助産科を卒業。京都市内の総合病院で勤務後、助産院で1年半勤務。

舞鶴に帰省後は個人病院と総合病院にそれぞれ4年間勤務、その間に結婚、2児の母となり、平成18年出張助産師として開業。

◆みき助産院開院の理由を教えてください

平成十六年、由良川でバスが取り残された台風23号の時、私は加佐地区に住んでいて、子どもも小さくて、とても不安で、怖い思いをしました。「人間はいつ死ぬかわからない。」と思って、いつ死んでもいい生き方をしたいと思うようになりました。
 その後、勤務していた総合

病院を退職してから、自宅でお産をしたいというお母さんとの出会い、応援してくれる助産師さんたちとの出会いがあり、ずっと夢だった開業をすることになりました。

◆いつから助産師を目指されたのですか

母のすすめで、女性は手に職を持った方がいいと言われ、看護師になりました。はじめは、内科で看護師をして



いて、たくさんの方が亡くなる場面を見ました。
 延命が一番の目的にした医療の中で、私はこのままでいいのだろうかともやもやしていました。

そんな時、自宅分娩を体験したご夫婦から、「幸せな体験だった。」とお話を聞いて、幸せなお産のお手伝いができる助産師になろうと思えました。

◆在学中の思い出をお聞かせください

当時、古本屋さんで漫画を借りて読むのと、友達と帰りにモスバーガーや、さとうの寿がきやでラーメンを食べるのが楽しみでした。

船で通っていたので、時々船の後を追ってくるイルカや

◆最後にメッセージをお願いします

小さいクジラに会ったり、トビウオが飛んでいたりと、舞鶴湾の自然を毎日満喫していました。
 小学校の時は男勝りだったのに、思春期になって男子に対して壁をつくり、恥ずかしくて、話すこともできませんでした。男女関係なく楽しそうに話している人がとてもうれしかったです。

いま、コロナ感染症や災害も増え、大変な時代になってきましたが、また元気な同窓生の皆さんにお会いできる日が来るように祈っています。

 新宮さんは、みき助産院について、様々な年齢のいろいろな人が集まって、一人一人が心身共に健康に自分らしく輝いて生きられるように、共に学び、考える場所でありたいと思っておられ、

また、地域の皆さんがほっとして、笑顔になれる憩いの場所になりたいと考えておられます。新宮さんのお話を聴き、パワーをいただいたと同時に、私は、今まで生きて



きて一番幸せだと感じたのは子どもが生まれたときです。新宮さんのような方が舞鶴にいてくださり、本当にありがたいと改めて思いました。
 《河崎安代》

令和元年度 がんばってます 部活動

全国大会出場

陸上競技部

- 第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 8/4~8/8 (沖縄県)
男子 ハンマー投 坂根宗一郎 (3年)
- 第7回全国高等学校陸上競技選抜大会 8/31~9/1 (大阪府)
男子 スプリント・トライアスロン
西村 鴻生 (3年)

テニス部

- 第76回全国高等学校対抗テニス大会、第109回全国高等学校テニス選手権大会 8/2~8/8 (宮崎県)
女子 シングルス 梅林 咲甫 (2年)

水泳部

- 第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 3/26~3/29 (東京都)
女子 100m・200m平泳ぎ
山崎穂乃花 (1年)

近畿大会出場

女子ソフトテニス部

- 令和元年度近畿高等学校ソフトテニス選手権大会 7/13~7/15 (滋賀県)
女子団体
西田 麻穂 (3年) 島田 桃奈 (3年)
本条 由芽 (3年) 井川 葵 (2年)
今井 紗香 (2年) 坂根 由菜 (2年)
前 香凜 (2年) 羽賀田結衣 (2年)

陸上競技部

- 第72回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会 6/13~6/16 (大阪府)
男子 砲丸投・ハンマー投
坂根宗一郎 (3年)
200m・400m
西村 鴻生 (3年)

テニス部

- 令和元年度近畿高等学校テニス大会 9/14~9/16 (京都府)
女子 シングルス 梅林 咲甫 (2年)
- 令和元年度第8回近畿公立高等学校テニス大会 2/2 (大阪府)
女子 シングルス
梅林 咲甫 (2年)
久保 玲奈 (1年)

卓球部

- 第73回近畿高等学校卓球選手権大会 7/24~7/26 (奈良県)
女子団体
杉山 茜 (3年) 松田 莉帆 (3年)
水上優葵乃 (3年) 廣瀬ひかり (2年)
野瀬 萌花 (2年) 坂根 実来 (2年)
奥田 夏鈴 (2年) 水嶋 花 (2年)
坂本奈々美 (1年) 松田 実侑 (1年)
個人戦 シングルス 松田 莉帆
ダブルス 松田 莉帆
松田 実侑 ペア

- 第34回近畿高等学校新人卓球大会 12/20~12/21 (兵庫県)
女子団体
廣瀬ひかり (2年) 野瀬 萌花 (2年)
奥田 夏鈴 (2年) 水嶋 花 (2年)
坂根 実来 (2年) 坂本奈々美 (1年)
松田 実侑 (1年)

水泳部

- 第73回近畿高等学校選手権水泳競技大会 7/22~7/24 (兵庫県)
男子 200m個人メドレー・400m個人メドレー
井上 裕太 (3年)



- 女子 100m平泳ぎ・200m平泳ぎ
森兼 陽向 (3年)
山崎穂乃花 (1年)
- 第39回近畿高等学校新人水泳競技大会 10/5~10/6 (奈良県)
女子 100m平泳ぎ
山崎穂乃花 (1年)

写真部

- 第39回近畿高等学校総合文化祭 11/23~11/24 (京都府)
吉崎 鈴夏 (3年)
作品：「均衡を破れ！」
田中 円樺 (3年)
作品：「家に帰ろう。」
矢野 詩織 (3年)
作品：「この先、左折です。」

美術部

- 第39回近畿高等学校総合文化祭 11/23~11/24 (京都府)
西岡 幸菜 (3年)
作品：「ゆれている」(絵画)
能勢 信 (3年)
作品：「極楽浄土」(絵画)
江川 優衣 (3年)
作品：「大きく、」(工芸)



各クラブ みんな頑張っています

女子バレーボール部



ソフトボール部



サッカー部



陸上競技部



ソフトテニス部



バドミントン部



吹奏楽部



剣道部



野球部





卒業生の進路状況

同窓会員の皆様には、本校の教育活動とりわけ進路指導に対して御支援をいただき、誠にありがとうございます。昨年度も多くの生徒が3月末まで惜しみない努力を続け、進路実現をしっかりと果たしました。

就職では7名が学校紹介による民間企業に内定しました。何よりも舞鶴含む京都府北部地域の多くの事業所から求人票を御送付していただきました。ありがとうございます。

また、大阪大学や神戸大学、広島大学、岡山大学などにも多くの合格者を輩出しました。第一志望突破に向け、安易に妥協しない「克己」心は、後輩たちにも励みになっていきます。また、私立大学でもいわゆる「関関同立」にも約33名が合格し、京都産業大学や近畿大学などの関西の有名大学にもそれぞれ20名以上のべ合格者が出ています。

母校Report



公務員では京都府職員、京都府警察、舞鶴市役所、舞鶴市消防、綾部市役所、自衛隊などに内定しました。本校では2年次より、外部講師を招聘し「公務員・就職特別対策講座」を開講しています。舞鶴公共職業安定所はもとより専修学校からも講師を招き、職業観や勤労観を醸成し、社会人としての自覚や決意を促す機会を設置しています。就職希望者の割合は進学希望者に比して少数に留まりますが、今後とも会員の皆様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

進学では国公立大学にのべ54名が合格しました。多くの生徒が3年間粘り強く部活動に励んで、文武両道を見事に成し遂げました。基本的な生活習慣をしっかりと確立し、学習に真摯に取り組む傍ら、休み時間や通学時間の「スキマ」を上手に活用し

ました。大阪大学や神戸大学、広島大学、岡山大学などにも多くの合格者を輩出しました。第一志望突破に向け、安易に妥協しない「克己」心は、後輩たちにも励みになっていきます。また、私立大学でもいわゆる「関関同立」にも約33名が合格し、京都産業大学や近畿大学などの関西の有名大学にもそれぞれ20名以上のべ合格者が出ています。

本校卒業後、多くの生徒は故郷を離れますが、将来は帰郷し、地域の活性化に向けて、一層貢献して欲しいと願っています。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「世界的大流行(パンデミック)」は一層不透明かつ方向性が見えない「時代」の到来をもたらしています。しかし、人類の歴史は感染症の被害にさらされながらも、人類の英知により「克服」した歴史でもあります。生徒には崇高なる理念を抱き、「共生社会」を形成する「協働」「共感」の姿勢を育んで欲しいと感じます。会員の皆様には、このような時期でもありますが、後輩たちにこれまでと同様の御支援を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

進学 208名

	男	女	計
大学	75	76	151
短大	0	14	14
専各他	12	10	22

就職 15名

	舞鶴市	府内	府外	公務員	計
男	1	1	0	2	4
女	0	3	2	6	11

進路指導部長
堀江嘉明

京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
- 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
- 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
- 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
 - 1. 会員 (イ) 舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生 (ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生 (ハ) 西舞鶴高等学校卒業生 (ニ) 以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 - 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
 - 1. 会長 会員の中より総会で選出する。
 - 2. 副会長 理事の中より若干名を選出する。
 - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 - 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦された若干名および評議員より若干名を会長が委嘱する。
 - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 - 6. 評議員 各学年において互選により適当数を選出する。
 - 7. 監査 評議員の中から2名選出する。
- 第8条 役員は次の通りとする。
 - 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 - 6. 評議員は総会で総会附議事項を審議する。
 - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員は任期は2ヶ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際して会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - 1. 会員名簿および会報の発行
 - 2. 会員の慶弔および慰問
 - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。総会は理事、監査、評議員で構成する。
- 第15条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
 - ①改定：第14条末尾の「部会」は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
 - ②改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)
 - ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)

双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 増本治夫(昭34高)
 事務局長 澤田謙二(昭48高)
 「事務局」〒216-0035
 神奈川県川崎市宮前区馬絹4丁目18番14-201号
 藤和宮崎台コープ(澤田)
 TEL/FAX 044-863-6978(自)
 メールアドレス jury-22@lagoon.ocn.ne.jp

【京都支部】

支部長 齋藤敏明(昭36高)
 事務局長 原田易典(昭48高)
 「事務局」〒520-0246
 滋賀県大津市仰木の里3-15-6(原田)
 TEL 090-7879-2441(携帯)
 メールアドレス harada.kkvp@gmail.com

【阪神支部】

支部長 谷村久兒雄(昭42高)
 事務局長 坂根章二(昭48高)
 「事務局」〒586-0021
 大阪府河内市長野市原町4-8-1-712(坂根)
 TEL 0721-56-7124(自)
 メールアドレス oyajicch-s@docomo.ne.jp

【通信制課程役員】

◎通信制の会長 岩田 護(平9通)本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会長 内藤行雄(昭41高)
 副会長 南部正治(昭51高)
 志摩敏樹(昭56高)
 左織美紀恵(昭56高)
 佐古田政彰(昭58高)
 理事長 渡辺弘(昭48高)
 副理事長 柿本徳栄(昭47高)
 庶務理事 米山隆一郎(昭51高)
 (ホームページ担当)
 森 宏 昭(昭56高)
 林 博之(昭59高)
 中西 毅(昭49高)
 奥野照美(昭55高)
 野村美由紀(昭55高)
 阪 昌代(昭61高)
 土師千穂(昭62高)
 白井俊博(平19高)
 河合美咲(平28高)
 会計理事 永山隆司(昭50高)
 監査 上山利彦(昭41高)
 齋藤友幸(昭43高)
 顧問 松下茂男 校長
 田邊仁司 全日制副校長
 金井克彦 通信制副校長
 奥野久美子 事務長
 参与 南 房夫 第8代会長(昭32高)

双鶴同窓会ホームページ

http://www.soukaku.com/

寄稿のお願い

同窓会報に原稿をお寄せください。「同期会などの様子」「同窓会員さんの御活躍の様子」など文章や写真でお寄せください。
 西舞鶴高等学校双鶴同窓会「会報編集係」までよろしくお願ひします。

編集後記

「トピックスinふるさと」では、細川幽齋・田辺城について紹介させていただきました。
 私は、明倫小学校出身で、子どもの頃、田辺城公園で毎日のように遊んでいました。春には写生大会があり絵を描いたこと、池に人の顔をした鯉がいたことなど、懐かしく思い出してあります。
 芸能に優れ、有職故実、歌道、能楽、音曲、茶の湯など、そのいづれもが名人の域に達し、武人としては刀も弓も免許皆伝という細川幽齋。私はこのスパーマンがいた舞鶴で生まれたこと、育ったことをとても嬉しく思います。
 今年の一月二日に開催した卒業三十周年同窓会では、約一六〇名が舞鶴グランドホテルに集い、とても楽しいひと時を過ごしました。三十年ぶりの再会に湧く熱気の中で、あつという間に時間が過ぎたような気がいたしております。改めて、若かったあの頃の時間を共に過ごした仲間たちが、かけがえのない特別な存在であることを実感いたしました。
 今回、双鶴同窓会報第四十四号の発行にあたりましては、同窓会長様や校長先生をはじめ、諸先輩方から投稿いただき、さらにご担当の先生方にご協力をいただきましたことに深く感謝し、厚く御礼申し上げます。
 この会報の編集委員をさせていただいたことで、双鶴同窓会につながりにふれることができ、とても貴重な経験になりました。ありがとうございました。

編集委員(平成元年卒業) 河崎安代